

7/2 茨城県農業三士の認定

7月2日に県総合福祉会館で、県農業振興のけん引役となる農業三士（農業経営士、女性農業士、青年農業士）の認定・退任式が開催されました。

本市からは、西塩子でなす等の生産・販売に取り組む大貫寛一さんが「青年農業士」を退任すると同時に「農業経営士」の認定を受けました。

大貫さんは、なす部会の研修受け入れ農家として新規生産者の育成にも貢献されており、今後も地域農業のリーダーとして更に活躍されることが期待されます。



▲(右) 大貫 寛一さん

7/3 コロナ禍の中で活動する消防吏員を鈴木市長が激励！

7月3日、鈴木市長が就任して初めての市長特別点検を実施しました。市長特別点検とは、消防吏員の姿勢、服装を鈴木市長が点検することで、厳正な規律を保持し、消防吏員の品位の向上を図り、指揮統率の取れた組織体制を確保し、災害活動に万全を期すために行われるものです。火災や救急などの災害に対して、万全を期して業務を遂行していきます。



▲特別点検の様子

7/19 常陸大宮大使 大森 雅俊さんのバイクレッスン開催！

市内の旧松沢小学校のグラウンドを活用して、ダートトラックのプロライダー、そして常陸大宮大使の大森雅俊さんを講師に、バイクレッスンが開催されました。

大人はもちろん、子供も楽しめるスポーツのダートトラック。この日も、梅雨の晴れ間の中、参加者最年少の中学生から大人まで幅広い年齢層の方々が、ダートトラックを楽しんでいました。

また大森雅俊さんの協力のもと、走行を体感できる動画も撮影しました。本市のインスタグラムで動画配信中です。

ぜひプロの走りを体感してみてください。

※ダートトラックとは、2輪のモータースポーツ競技。未舗装の周回路（トラック）上を反時計回りで周回し、その速さを競うレース。



▲熱心に話を聞く参加者の皆さん



▲砂が舞い上がり、迫力があります

7/26 消防団車両(小型動力ポンプ付積載車)貸与式

本市の消防団は、全18分団65部及び女性分団で組織され、それぞれの地区で消防車両を用いて、火災発生時の初期段階での消火活動、延焼拡大防止、夜警による火災防止啓発など、地域防災の中核的存在として活動しています。

経年劣化した消防車両を計画的かつ定期的に更新し、災害発生に備えることを目的に、今回第3分団第3部（富岡）、第4分団第2部（根本）、第9分団第1部（山方照田）に小型動力ポンプ付積載車が貸与されました。



▲車両装備の説明を受ける消防団員の皆さん

7/5 パラオ共和国研修生最後のイベント「七夕フェス」でホストタウンPR！

パラオ共和国研修生のケネリーさんとシェナさんが、道の駅常陸大宮～かわプラザ～「七夕フェス」で研修最後となるホストタウンPRイベントに参加しました。研修生2人は浴衣と甚平を着て、来場した皆さんにオリジナルパラオステッカーの配布や本市とパラオのつながりについて紹介をしました。パラオをイメージした短冊には、青色はイルカ、黄色はクラゲをかたどり、パラオに寄せた願い事約200枚が竹に飾られました。

ケネリーさんとシェナさんは、未来に向けた交流の一翼を担う気持ちと共に「パラオと日本、そして、常陸大宮市の友情が永遠に続くように！」との願いを短冊に込めました。



▲「七夕フェス」でPRをするパラオ共和国研修生

8/8 道の駅かわプラザで「久慈川たけのこメンマ」販売決定！

久慈川流域の荒廃した竹林を、5年前から整備し続けてきた久慈岡共有竹林組合の皆さん。竹林整備とともに、刈り取ったたけのこを使って、久慈岡産たけのこ加工品の商品化を目指して、活動してきました。

今回、そのたけのこ（真竹）を道の駅常陸大宮かわプラザと連携して商品開発し、「久慈川たけのこメンマ」として8月8日から販売することが決定しました。

竹林整備の中心となって活動している久慈岡地区高安 敏明区長は、「5年間の時間を経て、やっと商品化することができた。竹林整備とともに、常陸大宮市産の安心・安全なメンマをたくさんの方に提供していきたい。」と話しました。

「久慈川たけのこメンマ」は道の駅かわプラザにて販売中です。ぜひご賞味ください。



▲左から 鈴木 理司駅長補佐、高安 敏明区長(久慈岡地区) 高安 千里組合長、大山 博文駅長



▲歯ごたえのあるおいしいメンマが完成！